

2009年度 理事会議事要録

2009年度第1回理事会（対面）

開催日時：2009年4月15日(水)19時30分～

開催場所：中央大学理工学部

出席者：鎌倉(会長), 富澤(副会長), 酒折, 山本,
岸野, 永田, 渡辺, 瀬尾, 椿, 原, 田栗,
清水, 廣津 各理事

欠席者：藤井, 笛田 各理事

議事：

1. 年次報告および計画について

平成20年度が終了し、評議員会および総会を控えているので、以下の項目について審議を行った。

1a)2008年度事業報告

庶務(文書)理事から資料に基づき説明があり、審議の結果一部修正の上了承された。

1b)2008年度決算報告

会計理事の代理で庶務(文書)理事から資料に基づき説明があり、審議の結果了承された。

1c)2009年度事業計画

庶務(文書)理事から資料に基づき説明があり、審議の結果一部修正の上了承された。

1d)2009年度予算案

会計理事の代理で庶務(文書)理事から資料に基づき説明があり、審議の結果修正が必要と判断された。後日、修正案が提示され了承された。

2. 年会およびチュートリアルセミナーについて

来月に控える年会およびチュートリアルセミナーについて以下の項目の審議を行った。

2a)企画理事からの状況報告

企画理事より準備状況についての報告があった。

2b)学生アルバイトについて

今回は大阪で行うため、学生アルバイトを現地の学生に依頼するか、企画理事の大学から連れていくかが議論された。旅費・宿泊費の手配などの問題があり、1名の学生の旅費を支給す

る方向で検討することとなった。

2c)優秀ポスター賞設立等について

優秀ポスター賞の設立が提案され、それに合わせて規定の変更が提案された。審議の結果了承され、評議員会に諮ることとなった。

3. 学会賞受賞候補者について

学会賞受賞者の審査経緯が説明された。

4. 入退会者の承認について

以下の入退会希望者につき審議を行い、それぞれ承認することとした。

4a)入会申込者5名

4b)賛助会員申込1社

4c)退会希望者18名

5. 宛先不明会員の処遇について

宛先のわからなくなっている会員の会員登録を継続するかどうか審議を行い、会員登録を解除するとの決定がなされた。

報告事項：

1. 各理事からの報告

1a)編集理事より電子ジャーナル化について、学会誌編集状況について

編集理事より、J-STAGEによる電子ジャーナル化の報告と、学会誌の編集状況について報告があった。

2009年度第2回理事会（メール審議）

開催期間:2009年5月27日(水)～5月31日(日)

開催方法:e-mailによる討議

出席者：鎌倉(会長), 富澤(副会長), 酒折, 山本,
藤井, 笛田, 岸野, 永田, 渡辺, 瀬尾,
椿, 原, 田栗, 清水, 廣津 各理事

議事：

1. 2009年度年会・総会・評議員会・理事会・チュートリアルセミナーについて

新型インフルエンザの影響で開催を中止した2009年5月23日の応用統計学会2009年度年会・総会・評議員会について、以下の日程と場所で開催することとした。

- ・日時:2009年8月1日
- ・場所:統計数理研究所

なお、プログラムについては基本的に5月23日に予定されていたものをそのままスライドするとし、都合のつかない講演者等については個別に対応することとした。また、5月22日に予定されていたチュートリアルセミナーについては、金明哲先生(同志社大学)の都合が合わないため別途開催を検討することとした。

2009年度第3回理事会(対面)

開催期間:2009年9月7日(水) 17:40~

開催場所:同志社大学京田辺キャンパス夢告館

2階 MK204

出席者:鎌倉(会長), 富澤(副会長), 酒折, 山本, 藤井, 笛田, 岸野, 永田, 渡辺, 瀬尾, 椿, 廣津 各理事

欠席者:原, 田栗, 清水 各理事

議事:

1. 2011年連合大会の参加, 開催候補地の推薦について

2011年度連合大会への参加について議論し, 応用統計学会としてはシンポジウムとして参加することを決定した。また, 2011年度連合大会の開催候補地として関西学院大学が挙げられているが, 他に候補地があれば提案することとした。

2. 2010年連合大会各種委員の選出について

2010年度連合大会の委員を以下のように選出した。

- ・プログラム委員:瀬尾
- ・運営委員:笛田
- ・Web委員:山本

3. 入退会者の承認について

入退会希望者につき審議を行い, それぞれ承認することとした。

4. チュートリアルの開催について

新型インフルエンザの影響により延期していたチュートリアルを, 2009年11月28日に京都大学医学部で開催することが報告された。

報告事項:

1. 各理事からの報告

1a)編集理事報告

永田編集理事から学会誌の編集状況等につき報告があった。また, 故上田太一郎氏の論文を英文化したいという外部からの依頼については, 応用統計学会で翻訳のチェックはしないこと, 原著が応用統計学に掲載されていることを記載することを条件に許可を出す方向で話を進めるとの方針が報告された。さらに, J-Stageによる論文のPDF化について紙媒体を廃止して完全に電子ジャーナル化してはどうか, 論文の投稿規定では特集号を除き1名が学会員であることが条件となっているがその学会員は第一著者に限るのか, 非会員の場合でも有料で投稿可能としてはどうか, などの意見が出され, 今後検討していくこととなった。

1b)横幹連合報告

椿無任所理事より横幹連合の状況についての報告があった。

2. 大内賞報告

大内賞につき, 2009年度は応用統計学会からの推薦を見送ることを決定した。

3. その他

運営資金不足の問題, および会員が引き続き減少していることへの方策について議論がなされ, 以下のような意見と方針が出された。

3a)応用統計学の投稿規定を緩め, 投稿を促す

⇒金銭面の問題から様子を見る

3b)論文の投稿ジャンルを増やす, ケーススタ

ディ的な論文を多く取り入れる⇒投稿ジャンルの見直しについては編集委員会以案を出して理事会に提示してもらう

3c)統計関連の就職先を学会としてまとめて公

開し, 学生のキャリア支援を行う⇒引き続き

検討

3d) 会費の値上げ、講演会や公開講座を開き収益を確保する⇒引き続き検討

2009年度第4回理事会（対面）

開催日時:2010年4月17日（土）13:30～:17:00

開催場所：中央大学理工学部

出席者：鎌倉（会長）、富澤（副会長）、酒折、笛田、永田、渡辺、瀬尾、椿、清水、廣津各理事

欠席者：山本、藤井、岸野、原、田栗 各理事

議事：

1. 前回議事録の承認

第3回理事会の議事録につき、一部修正の上承認された。

2. 年次報告および計画について

評議員会および総会が控えているので、以下の項目について審議を行った。

2a)2009年度事業報告

酒折庶務(文書)理事から資料に基づき説明があり、審議の結果一部修正の上了承された。

2b)2009年度会計報告

笛田会計理事から資料に基づき説明があり、了承された。

2c)2010年度事業計画

酒折庶務(文書)理事から資料に基づき説明があり、了承された。

2d)2010年度予算案

笛田会計理事から資料に基づき説明があり、了承された。

3. 会長・副会長・評議員選挙結果報告

藤井庶務(組織)理事の代理で酒折庶務(文書)理事から選挙の経緯と下記の報告がなされた。なお、地域代表として選出された評議員のうち所属が別地域に移っている方がおり、地域代表が適切であるかを審議した。その結果、被選挙人のリストに記載されている所属によるべきであり、その評議員には地域代表を担当しても

らう、ただし本人が地域代表を辞退された場合にはこの限りでない、と決定された。また、投票総数が少なかったために当選ラインが低かったこと、会長・副会長の信任投票については当選基準が会則等で定められていないなど、藤井庶務(組織)理事からの意見が報告され、次の理事会へ引き継ぐことになった。

3a)会長

椿 広計(統計数理研究所)

3b)副会長

渡辺美智子(東洋大学経済学部)

3c)評議員(23名。カッコ内は地域代表者の地域名)

赤平昌文、岩崎 学(南関東)、大瀧 慈、折笠秀樹(北日本・北関東)、狩野 裕(東海近畿)、鎌倉稔成、栗本 哲、栗原考次(西日本)、黒木 学(東海近畿)、小西貞則(西日本)、佐藤学、白旗慎吾、杉山高一、瀬尾 隆(南関東)、辻谷将明、富澤貞男、鳩山由紀夫、演崎俊光、広津千尋、藤井良宜、水田正弘(北日本・北関東)、南美穂子、柳川 堯

4. 年会およびチュートリアルセミナーについて

4a)企画理事からの状況報告

瀬尾企画理事から5月に統計数理研究所で開催される年会・チュートリアルセミナーに関する準備の進捗状況が報告された。今回のチュートリアルセミナーは日本計量生物学会と合同で行い、事前申込みを行うことが報告された。なお、チュートリアルセミナーにかかる費用や収入は両学会で折半することが確認された。

また、その際に開催される学会運営に関する会議として以下があることが確認された。

- ・理事会(5月19日夕)
- ・評議員会(5月20日昼)
- ・総会(5月20日夕)
- ・編集委員会(5月20日夕)

5. 入退会者の承認について

5a)入会申込者 9名

入会申込者につき審議を行い、入会が承認された。

5b)退会希望者 16名

退会希望者につき審議を行い、理事に心あつたりのある希望者については慰留を行って欲しいとの意見が出たが、基本的には退会が承認された。なお、会員数の減少を食い止めるため、終身会員制を考えてはどうかとの意見が出た。

6. 宛先不明会員と長期滞納者の処遇について

宛先不明会員、および会費の長期滞納者の処遇について審議を行い、理事が行方を把握している数名については連絡をとること、連絡の付かない会員については退会・除名の対応をとることが確認された。

7. 運営資金不足に対する方策について

学会の運営資金の不足(単年度赤字)が続いていることから、その方策について議論を行った。その結果、論文は電子ジャーナルでの発行を中心とし紙媒体での発行は年間1冊にまとめる、紙媒体での論文誌の要不要に応じて会員のレベルをつける、などの意見が出され、次の理事会で議論を進めることとなった。なお、前者に関しては、理事会議事要録などのニュースの掲載はどうするのか、広告費や購読費の減少を考慮する必要がある、などの意見も出された。

8. 学会賞の提案、投稿ジャンルの変更、編集委員

永田編集理事より、以下の事項につき提案があり、すべて了承された。なお、8bの事項については評議員会に諮ることとなった。また、評議員会を通った場合、現在「覚え書」に投稿され審査中の論文が掲載となったときに「覚え書」として出すのか「研究ノート」とするのは著者に確認を取る必要があることや、変更があったことを Editorial として説明すべきであることが確認された。

8a)学会賞の提案

- ・優秀論文賞：佐藤健一・柳原宏和・加茂憲一、「離散分布の経時測定データにおける線形な変化係数の推測について」、Vol. 38, No. 1
- ・奨励論文賞：川田章広、塩演敬之、「格付・財務情報を用いた金利・リスクプレミアム期間構造の推定」、Vol. 38, No. 2

8b)投稿ジャンルの名称変更

「覚え書」を「研究ノート」に変更する。

8c)2010年度・2011年度の編集委員の構成

編集理事：永田 靖，黒木 学

編集委員：青木 敏，石岡恒憲，井元清哉，岸野洋久，栗本 哲，栗原考次，佐藤健一，佐藤忠彦，関 庸一，中西寛子，西井龍映，漬崎俊光，星野崇宏，松浦正明

報告事項：

1. 統計関連学会連合について

鎌倉会長より、統計関連学会連合理事会の状況につき報告があった。

2. 統計関連学会連合大会について

瀬尾企画理事より、統計関連学会連合大会の準備状況につき報告があった。

3. 各理事からの報告

3a)編集理事

永田編集理事より、「応用統計学」の投稿状況と J-Stage について報告があった。

3b)横幹連合

椿無任所理事より横幹連合での活動につき報告があった。

2009年度第5回理事会（対面）

開催期間：2010年5月19日(水)18:30～20:30

開催場所：中央大学理工学部

出席者：鎌倉(会長)、富澤(副会長)、酒折、山本、

永田、椿、原、田栗、清水 各理事

欠席者：笛田、藤井、岸野、渡辺、瀬尾、廣津

各理事

議事：

1. 評議員会・総会の準備状況について

翌日に開催される評議員会・総会の準備状況について確認した。前回理事会時に打ち合わせた手順で準備が完了していることが関係理事から報告された。

2. 2011年度年会について

2011年度年についても、従来通りに日本計量生物学会と共同で開催することとした。会場の準備等は両学会で交互に担当しており、2011年度は応用統計学会が担当することを確認した。また、会場の有力な候補として大阪大学に打診することとした。

3. 入退会者の承認について

以下の入会申込礼大会申込者について審議し、いずれも承認した。

3a)入会申込者 6名

3b)退会希望者 1名

3c)賛助会員の脱退希望 1社

4. 共催依頼について

5月27日～29日に行われる日本品質管理学会主催の講演会「社会における統計的問題解決の有用性とその実際」への共催依頼につき審議し、共催を承認した。

5. その他

統計関連学会連合の活動を引き続き行っていくことが確認された。

報告事項：

1. 各理事からの進捗状況

永田編集理事より学会誌の編集状況が報告された。

2. 宛先不明会員への対応状況

宛先不明会員への対応として、連絡のつかない会員は退会させることとなった。また、今後は事務局に過去2年分の不払い者リストを出してもらおうよう依頼することとした。

3. その他

昨年度までの理事会において、連合大会 Web 委員として山本庶務（広報）理事の代わりに適任者がいれば依頼することになっていた。結局、Web 委員の選出依頼はなかったが、その候補として村上秀俊氏（防衛大学校）に内諾を得ていた。このことを次期理事会に申し送りすることとした。

また、これまで庶務（広報）の業務として、Web サーバの管理について同じく村上秀俊氏にお願いすることについて内諾を得ていることを次期理事会に申し送りすることとした。